

北海道放射線技術雑誌投稿規定

目的

この規定は北海道放射線技術雑誌に対する投稿原稿の記載基準を定めることを目的とする。

投稿資格

投稿者は、会員、非会員を問わず、本雑誌に投稿する権利を有する。

著作権

本雑誌に掲載された研究抄録、講演記録等の著作権は本会に属する。

投稿区分

投稿区分は下記の基準によるものとする。

- (1) 研究抄録: 一般研究論文および本会主催の研究発表会に発表した演題の論旨を正確に表現したもの。独創性は問わない。または、既成の装置、製品・試薬など技術的評価および臨床評価、既成の装置等における工夫・改良などに関するもの
- (2) 講演記録: 本会の春季、秋季大会において発表されたもので、招待講演、特別講演、教育講演、大会長講演、宿題報告、専門分科会における講演、討論会などを講演記録。原則として発表後6ヵ月以内に投稿されたもの
- (3) その他: シンポジウム、掲載論文、または研究報告などに対する紙上討論、追加など

義務

本会主催の研究発表会に発表した演題は、必ず本雑誌に投稿する義務を有する。

原稿

- 1) 原稿は和文とし、本規定と投稿の手引きにしたがうこと。
- 2) 研究抄録は本会ホームページより電子投稿システムを用いて投稿する。投稿するファイルを事前に作成し、著者はその複製(プリント出力やCD-Rへの記録)を掲載決定まで確実に保存する。
- 3) 原稿の長さは別表1に定める。

- 4) 原稿は本会に到着した日付を受付日とし、編集委員会の採用決定日をもって受理年月日とする。

審査

- 1) 原稿の採否、及び投稿区分は編集委員会が査読し決定する。その結果の意見を付し投稿者に返却し、修正を求めることがある。
- 2) 受理された原稿は、編集委員会が訂正を求めた箇所以外に委員会の承諾なしに変更を加えてはならない。なお、編集委員会が要求する場合には、提出した研究抄録、講演記録等に関する電子ファイル(画像ファイル、テキストファイル)を送付すること。
- 3) 訂正を求められた場合には、指定された期日以内に再提出すること。尚、この期間を超えた場合には新たに投稿されたものとして受理する。

推薦

本雑誌に投稿された研究抄録、講演記録等のすべてに対して、編集委員会および表彰委員会は、北海道支部の上部団体である『日本放射線技術学会雑誌』及び『Radiological Physics and Technology』への論文投稿を推薦する。

校正

原則として著者校正は行わないが、編集委員会の判断により著者校正を行う場合がある。基本的には編集委員会の校正をもって校了とする。

送付方法

応募は北海道支部ホームページからのみとする。演題応募専用ページに必要事項を記入の上、部会メールに送信すること。なお、応募開始日と締切日は部会ホームページにある日時を厳守すること。

支部 HP: <http://jsrthokkaido.umin.jp>

支部メール office_jsrt-hokkaido@umin.ac.jp

投稿の手引き

投稿規定並びに投稿の手引きの注意事項に反した原稿は受理しない

- 1) 研究抄録原稿は、本会ホームページの投稿要項に従うこと。記述方法は、緒言、方法、結果、考察、結語の順に記述し、本投稿規定別表1の制限枚数を守ること。ページ超過は認めない。
 - 2) 共著者は、本投稿規定別表2に掲載した事項を厳守すること。
 - 3) キーワードは英語を用い、5語以内の名詞形とする。元素名、各種名、化合物名等は省略しない。
例) Computed tomography(CT)
NaCl→Sodium Chloride
 - 4) 数量の単位は国際単位系(SI)を使用する。数字はすべてアラビア数字(算用数字)を用いる。
C/kg Bq Gy Sv kg g mg mg/dl ml cm nm h min s °C kv mA mAs Hz
 - 5) 図、表は、本文とは離して別用とする。原稿に図、表を組み込む場所を欄外右横に朱書きする。(研究抄録に関してはフォーマットにのっとり作成)
 - 6) 図、表のカラー表示は、受け付けない。
 - 7) 文献は次の形式とする。著者名、表題、雑誌名(各学会で表示している略称を用いる)、発行年、巻、号、頁の順による。単行本の場合には上に準じ、発行所、発行地も記入すること。著者名は3名までとし以下は、“他”、“et al”と記載する。
 - 8) 投稿された研究抄録、講演記録等は基礎研究、応用研究のいずれにおいても生命倫理に十分な配慮がなされたもの。また、個人情報の保護のために必要な処置を講じたものとする。
 - 9) 不明な点は、抄録記述例を参照すること。
- <文献引用>
- (1) 今田順次, 長畑弘, 中村喜久男, 他: 伝達情報量による断層撮影系の評価 振角・断層速度・断層厚の3変量解析, 日放技学雑, 1982; 38(1): 14
 - (2) Green MV, Osterow HG, Doutrlas HA, et al: High temporal resolution ECG gated scintigraphic angiography, J.Nucl.Med, 1975; 16: 95-98
 - (3) 横野重喜, 高橋正昭, 小野口昌久, 他. 2-1 装置の原理. 超実践マニュアル RI. 医療科学社, 東京, 2006: 227-256.
 - 10) 文献の記述順序は引用順とし、本文中引用箇所の右肩に小さく番号を付すること。

別表1 原稿の長さ

| 論文の種類 | 刷り上り頁数 |
|--------------|-----------------|
| 研究抄録 | 見開き2頁(フォーマット参照) |
| 講演記録(宿題報告等) | 制限無し |
| その他(シンポジウム等) | 3頁以内 |

備考: 刷り上がり1頁は、和文1600字で1枚となる。図表は、それぞれ1枚を和文400字に換算する

別表2 共著者とは

- (1) 論文の論旨、及び研究内容や実験の構成を構築する等、実験にたずさわった者
- (2) 所属機関、及び病院等の所長、上司の名目による共著者は認めない
- (3) 研究内容に関する補助的助言者や、実験装置、器具の貸与をはじめ、実験の手伝い、図表、グラフ等の製作など研究に便宜を計った者等へは、論文中の謝辞にて敬意を表すものとする